

## ウトロ海域における取組の進捗状況について

### トピック

1. 平成 23 年 10 月 5 日にウトロ海域部会を開催し、各調査・事業の結果報告が行われ、次年度以降の広報活動等について討議した。
2. 平成 23 年 5 月から 10 月に海鳥の生態調査を実施。うちケイマフリの確認最大個体数は 142 羽（平成 22 年調査・最大 96 羽）であり、営巣数も昨年比で増加した。
3. 観光船「おーろら号」による海域観察記録や、観光船事業者によるケイマフリ保護の PR 実施、アンケート配布といった保全と活用の両主体による協働型事業を実施した。

### 1. ウトロ海域部会の開催

- ・平成 23 年 10 月 5 日に平成 23 年度第 2 回ウトロ海域部会が開催された。海鳥の生態調査や利用者動向調査（アンケート調査）の結果報告、観光船事業者による海域観察記録やケイマフリデコイを活用した保護 PR 活動についての報告が行われた。
- ・平成 24 年度以降の活動広報に向けて討議を行い、インターネット上への動画コンテンツの制作等について意見交換を行った。

### 2. 海鳥の生態調査

- ・平成 23 年 5 月から 10 月に海鳥の生態調査を実施した。ケイマフリの数をカウントする海上センサスでのケイマフリの確認最大個体数 142 羽、計 22 回の調査での平均確認数は約 95 羽となり、過去 4 年間の確認最大個体数 100 羽前後、平均確認数 60 羽程度に比して増加の傾向が見られた。
- ・ケイマフリ営巣数の確認調査では 44 巣が記録され、平成 23 年 5 月にケイマフリデコイを設置したトークシモイにも 1 巣確認されるなど、近年確認されなかった区域での営巣も確認された。

### 3. 協働型活動の実施

- ・観光船「おーろら号・おーろら 2 号」により、6 月から 7 月の計 59 便にて運行時に見られる海鳥の観察記録を付けた。海鳥生息環境の監視効果と海鳥への関心度の向上や、観察データの蓄積による観光サービスの向上効果に期待される。
- ・ケイマフリのデコイを用いた PR を各観光船事業者にて実施。平成 24 年度はより広範な事業者への協力を求め、ウトロ地域全体での PR 活動を進める予定。
- ・各観光船事業者からアンケート用紙を観光客に配布し、利用者動向調査を実施した。合計 4,857 枚のアンケートを配布し、1,131 通の回答が得られた（回収率 23.3%）。海鳥の保護と利用のマーケティングとして活用できるデータを得ることができ、部会内で共有することができた。